



インタビュー
Interview

輝いている人

入賞は通過点
次は夢の表彰台に上がりたい

第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会ジャイアントスラローム競技成年女子B 第7位
岡山県
神嶋 由佳子
令和2年2月18日
第75回国民体育大会
会長 伊藤 雅彦

2月に富山県で行われた第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会に出場し、ジャイアントスラローム成年女子の部（24歳以上）で第7位の成績を収めたのが、堀田由佳子さんだ。一昨年は11位、昨年は10位と着実にステップアップしてきて臨んだ今年、同競技で岡山県勢初の入賞に輝いた。

ジャイアントスラロームは、大回転とも称されるスキー種目の一つ。雪山の斜面に設定された標高差300から400メートルのコースを滑り降り、所要時間を競う。コース上の旗門を正確に通過する高い技術が求められる。

この冬は雪不足で県の選考会が中止になり、堀田さんにとって今シーズン初の公式試合が国体の舞台となった。「練習不足で不安と焦りの毎日だった。結果を出したことで、これまで期待してくれていたコーチや支えてくれた家族にやっと思返してきた」と振り返る。3月までは、中学校教諭として教壇に立ちながら練習を重ねてきた。教え子たちの励ましも今回の好結果に一役買ったようだ。

父と姉の影響で3歳からスキーを始め、国体出場は通算12回。中学3年生、高校3年生、大学4年生と、節目の年に大きなけがに見舞われたが、そのたびに乗り越えてきた。「けがは大変だったが、いい意味で諦めが悪いんです」と明るく話す。

次の目標を尋ねると、「今回の入賞は通過点。次は夢だった表彰台に上がりたい」ときっぱり。小柄な彼女からは、現状に満足せずさらに前に進もうとする力を感

第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会ジャイアントスラロームで7位入賞
堀田（旧姓・神嶋） 由佳子さん（久代）

スポーツ部門での優秀な選手を表彰

市スポーツ振興表彰（藤岡郁海賞）表彰式

スポーツ部門で顕著な成績を収めた人を表彰する市スポーツ振興表彰（藤岡郁海賞）の表彰式が、3月30日に市保健センターで行われました。

表彰されたのは次の9人と1団体です。柏野健吾（自転車）、堀田由佳子（スキー）、疋田隼也、安福心春（水泳）、辻田菜花、湯浅和可奈（エアロビック）、村本紳一郎、村本恵二郎、佐藤七菜香（レスリング）、総社中学校野球部【敬称略】

受賞者を代表して堀田由佳子さんが、「今後も練習を重ね、より良い成績を収められるよう、がんばってまいります。これからも応援よろしくお願ひします」と謝辞を述べました。



表彰された選手



ミニフォト

特産品販売で真庭市を応援



こだわりの乳製品を吟味

新型コロナウイルス被害に対する支援のため、サンロード吉備路で3月20日から3日間、真庭市蒜山ジャージー商品特別販売会を開催。訪れた人は、ジャージー牛乳やプリン、ヨーグルトなどを購入していました。

成年後見の担い手



鎌田さんと藤井さん（写真左から）

3月24日、市民後見人養成研修の修了証交付式が市役所で行われました。修了したのは鎌田和行さん（新本）と藤井久己さん（中央四丁目）。今後は、成年後見制度を利用する人をサポートしていきます。

個性が光る障がい者アート



独創的な作品が並んだ

4月2日から10日まで、市役所1階ロビーで障がい者アート展を行いました。市内の障がい者施設などで作成した絵やコースター、自閉症の画家・太田宏介さんの絵画など約45点を展示。色鮮やかな作品で市役所を彩りました。

三上さん 100歳おめでとう



家族らに祝福される三上さん

三上兵一さん（井手）が3月20日に満100歳の誕生日を迎えられ、25日に市から記念品が贈られました。趣味で社交ダンスを楽しんでいた三上さん。長寿の秘訣は、規則正しい生活をしてきたことだそうです。

癒し・希望・平穏の青色



青く光る備中国分寺五重塔

4月2日の世界自閉症啓発デーと、2日から8日までの発達障害啓発週間の啓発イベントの一環として、備中国分寺五重塔がブルーにライトアップされました。訪れた人は、神秘的な五重塔の姿に目を奪われていました。

交通安全の願いを込めて



交通安全標語付きの折鶴

4月13日、総社高校の家庭クラブの守屋加奈子さん（3年）が市役所を訪れ、クラブ員が交通安全を願って折った鶴約300羽を市に寄贈しました。折鶴は、市が実施する交通安全教室や出前講座で配布する予定です。